

広 報

# 富士川

7月号

昭和53年7月10日発行

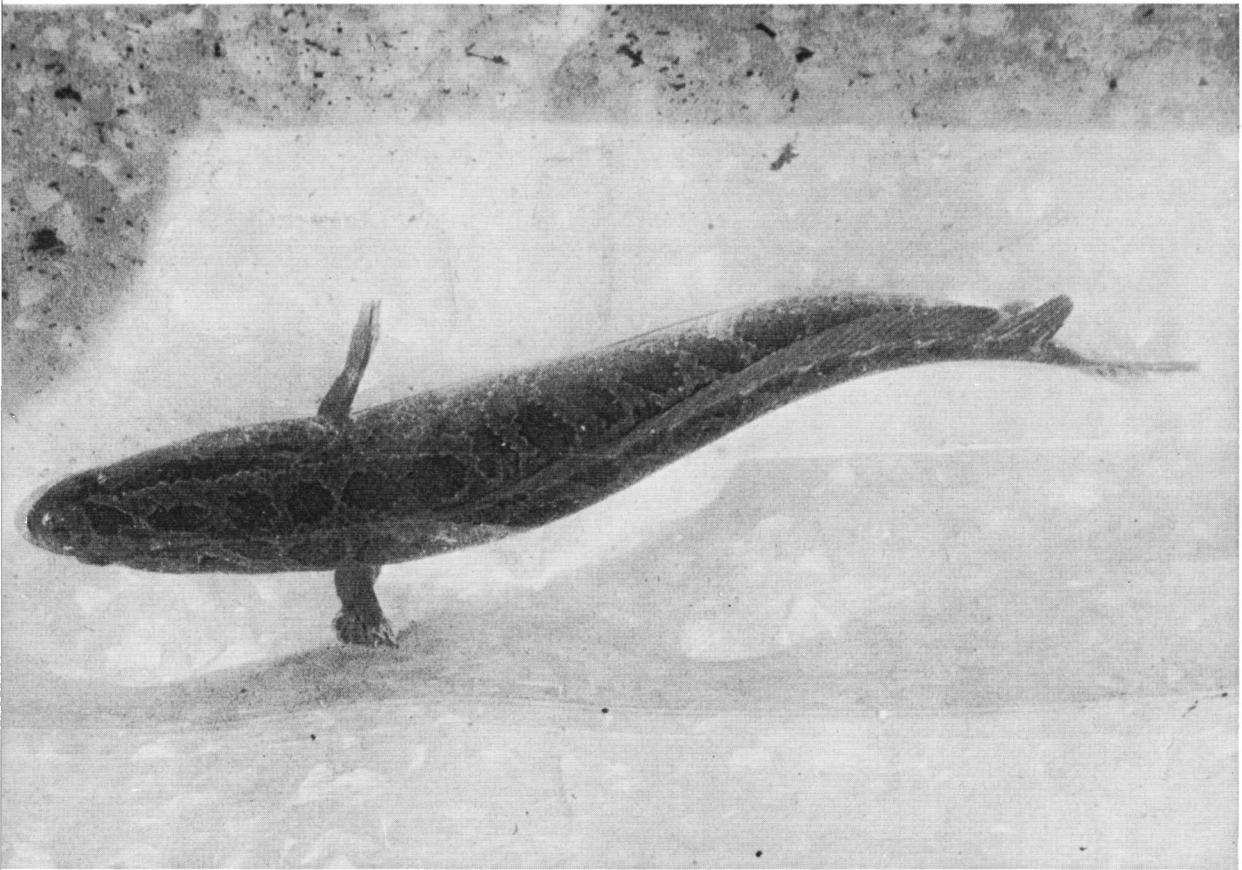
No. 204

## 町のメモ

昭和53年6月1日現在

人口	16,846人
増減	+5人
男	8,370人
女	8,476人
世帯数	4,098世帯
面積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 総務課



## みなさん初めまして！

### ～富士川で珍魚発見～

先日、国道一号線の富士川橋直下で体長40センチ以上もある珍しい魚が捕獲されました。つかまえたのは坂下区の後藤秀吉さん。以前にも体長60センチと40センチもある鮠（なまず）2匹を捕え新聞掲載されるなど皆さんをびっくりさせました。

しかし、今度の魚は誰もが見たとたんびっくり仰天、蛇と鮠の間の子とも思われる容姿に役場職員から色々な意見が続出したが、第一中学校の理科の先生に尋ねたところ、カムルチ（通称台湾うなぎ）ということで、戦前中国方面から持ち込んで養殖したといわれています。



# 「和の町政」を実現 対立のない



常葉新町長

## 町づくりに強い決意

高岡文夫前町長の急逝により、六月十一日(日)富士川町長選挙が行われ第二十五代町長に選ばれた、常葉雅文新町長は今後の町政を進めていくため、次のように抱負を語りました。  
富士川町政はここに、私の念願であります「対立のない和の町政」へ新しい出発の時を迎えました。私は町民のみなさんご支援に感謝の意を表わすと同時に実現への使命感と、いかなる壁にも負けることのない情熱で、この目標に向って一つづつ確実に冷静に私情をはさむことなく思いきった決断の町政を推し進めたいと思っています。

全てを一度にやる事は無理でしょうが停滞している町政を早く円滑に運営し、信頼に与する富士川町にふさわしい刷新を行政内部より着手し、勇気と英断をもって迅速にこれを行い町民のみなさんに納得のいく機構改革を進めていき、将来展望にたった町民参加の町づくりを遂行していきます。また、同時に町議会、区長会、諸団体との話し合いの場をより多く持ち、町政への進めるべき私の方角をご理解いただき協力をお願いする覚悟です。

### 町長室を開放

#### 町民と話し合える場に

対立のない和の町政の実践に伴ない、町民のみなさんの中に自ら入っていく姿勢でいます。そのためには、町民の誰からも声をかけていただき、ご相談を受けるといことが、今、一番必要だと感じています。

町民のみなさんと行政との間を埋めていく努力から始めていきたくと思っています。対話の場の復活が求められている今こそ、町民のみなさんの顔を、声を聞くことから行動に移すという、私の一日の業務を始めていき、町長室を町

### 新しい町づくりに

#### 必要な機構改革

役場職員とともに町政の新しい確立、迅速で円滑な信頼の行政を業務の中で積み重ねていきます。役場内部の機構改革として各課のあり方、町民サービスへの体制、

新しい時代の要求に耐えうるシステムの展開を至急検討していき、機構改革の柱としては、新しい町づくりに必要な課の設定と適材適所への人事の異動、各課のスタッフ機能と設備を充実させ官民一体の組織づくりを進めます。

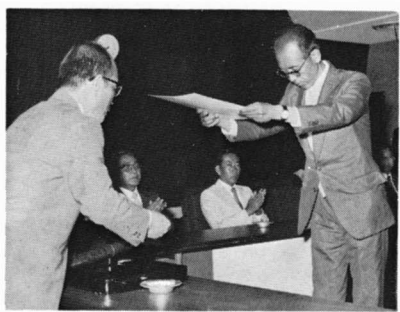
山積する諸問題についても行政機構の充実とともに町議会のみなさんの協力を得て関係各課の職員と昼夜を問わず、すみやかな解決への努力を図ります。また、一日も早く町民のみなさんへ支障のない行政を進め、将来への長期展望に立った基本構想の作成と町民参加における町民組織のあり方についても検討し、選挙中からの公約

### 六施策を強力に推進していく

私自身に与えられた六施策を強力に推進していきます。  
その六つの施策とは  
一、衆知を集めた町づくりの確立  
一、信頼に与する円滑なる町政  
一、将来展望に立つ機構の改革と  
施策の実現  
一、教育をのばし文化を育てる  
一、思いやりのある福祉の充実  
一、計画性のある開発と安全なくらし

町民のみなさんが本望に望んでいるのは、手づくりの行政の温かさであり町民の心を見落とすことなく、真心をこめて町政を行うことであり、生活中心の行政こそ町政をまちを実感として理解していただけることだと思います。町民生活を全体像としてとらえ、町民一人一人の生活要求を満たしていくことが、自治体の姿勢であり役目だと思っています。また、町政のパターンも生活を守るとい生活防衛行政に加えて、生がいを創造する

それが町政を高め地域参加の土壌となるよう全力で町政にかけていきます。町民のみなさんが、あたたかい参加の手をさしのべてくださることをお願いし、新たな出発への決意をします。



当選証書付与式

### 選挙結果

六月十一日(日)行われた富士川町長選挙の開票結果は、次のとおりです。  
当六、二七六票常葉雅文(47)無新  
三、五四五票太田義雄(53)無新  
有権者数 一一、四〇三人  
投票者数 一〇、〇二〇人  
投票率 八七・八七割  
有効投票数 九、八二一人  
無効投票数 一九九人

生活拡充行政に向けて転換していくことが必要です。

### 施策一、衆知を集めた町づくり

子供達が自然に親しみ、老人、主婦、青年が生きがいを感じる生活空間、町民一人一人の建設的話し合いから社会的連帯意識の向上を図り、町民の声が、生きづいていく町政、多くの人が語り集り、くらしについて真剣に語り合う町政を創ることが必要です。町行政が、ともすれば見落しがちの町民の心を、生活を忘れることなく行政に盛りこみ、より多くの人々の意見を謙虚に聞き新しい建設の道に英知を集集していきま。

### 施策二、信頼に与する円滑なる町政

町民の代表機関である町議会のみなさんの力を借り役場専門職員とともに強力な一本の体制をつくり、時代に対処した機能を充実させて、みなさんの要望に呼応できる町政をめざします。

### 施策三、将来展望にたつ機構の改革と施策の実現

官民一体のプロジェクトチームを結成し、専門諸氏の意見を取り入れた段階的計画を基に進めていきます。特に長期に渡る計画については諸団体、企業等の協力のうえに各方面の意見を取り入れて構

成していきます。

### 施策四、教育をのばし文化を育てる

子供達の将来を考え合せた時、教育の重さ、家庭のしつけほど大切なものはないと思います。教育の育たないところに文化も育たなければ人としての形成も向上もありません。親子の対話から町民の対話へと始まる家庭、学校、地域社会を含めた生涯教育こそ、今求められているものの一つです。また、活力ある町民の姿と健康増進を願い、積極的に体育、スポーツの振興をはかっていきます。

文化は、私たちの住む富士川町をしっかりと見て、正しく判断することから生れて来るものです。文化は、まちのアクセサリでも生活の装飾でもなく、地域文化として根つき生活に密着していかなければなりません。文化とは、それにふさわしい環境から生れるように、その土壌としての教育基盤の確立から見直していきま。

### 施策五、思いやりのある福祉の充実

言葉だけの福祉でなく町民の立場に立った心のこもった福祉を実践し施設の増設よりも、いたわり合う心の福祉をめざした福祉策として、福祉を民生に限定せず健康

管理、差別是正、物価安定、コミュニティづくりなどの広い視野の中にとらえるべきであり、町民と一緒に地域福祉の創造に力を入れていき、生活の質の向上をめざします。

### 施策六、計画性のある開発と安全なくらし

開発は勇気をもって進めなければなりません。百年の計を誤ることのないように慎重に進めなければなりません。私たちが祖先から受けついで富士川町はすばらしい町です。この富士川町を平和で安全な、そして自然と文化の融合した最も人間性ゆたかな町にし、それを私たちの子孫に引きつぐ義務があります。慎重な開発とともに自然との対話を求め魚の住む川緑の映える山を残し、町民が安全にくらせる町をめざします。都市整備、交通計画、特に富士川サービエリアへの乗り入れ、県道バイパス、上町バイパスの実現化等道路網の設置、住宅、広場、公園緑化、上下水道の整備、土地区画整理事業、企業誘致の推進と人口増加に伴う都市施設の問題は、早期に解決しなければならぬ課題です。これらについては、町議会、区長会、商工会、警察や消防署等と協力し解決を図っていきま

す。今や町民参加という言葉は巷

に溢れ、町政に有形無形の町民参加が浸透しつつあります。この傾向は行政だけでなく見るスポーツから参加するスポーツへ、鑑賞する芸術から創作する芸術へと能動性を強めています。明日の町政への活力となる明るい楽しい組織が町民独自の手作られていることは本望に喜ばしいことです。このような組織を保護し、個々に活動する隠れた組織をほり起し、自由な活動の出来る場所を提供することが大切です。行政が上にたち、指導育成することだけでなく町民のみなさんの活動力による、新しい組織づくりに大きな関心と期待をもって協力していきます。

今の富士川町の中で一人一人の生命とくらしは決して策を弄して守り育てられるものではなく、深い視点への認識が不可欠です。その一つが生活、自然への認識であり、そこに自然が息づいている町は素晴らしいと思います。  
生活と自然にめざめた行政を広く深く浸透させる。この二つが町民参加の充実であり、富士川町長として、町民、企業、町議会、職員の協力体制のもとに、一步一步人間、環境、町づくりへの施策を積み重ねていきます。その町政への姿勢実践への行動こそが町民のみなさんに求められた和の町政への証しであるといえます。また、



本通り三区の老人クラブのみなさん  
国道一号線を清掃中



日の出町区の国鉄新幹線側道わきの  
整地中のところ(現在は植樹されている)

町民憲章、ことしの目標は昨年にひきつづき「きれいな町にしましょう」に決り、区長さんをはじめ各区のみなさん、関係諸団体のご協力により推進されています。

本通り三区の老人クラブ(木内力松会長)では、26名の会員のみなさんが公共施設(特に道路)の清掃を毎月第一日曜日に実施しています。最近特に、缶ジュースなどの空き缶を道路に投げ捨てる者が多く後始末に苦りよしています。このような現状から会員のみなさんが一体となり、少しでも「住みよききれいな町づくり」ができればと自分たちの手で空き缶等を入れるカゴをつくり区民の人たちと協力しことしの目標推進に努めています。

また、日の出町区でも、目標の一環事業として国鉄新幹線側道の空地につつじなどを植樹、きれいな町にするには、まず区の中から緑化推進をしています。

# 町のここの目標 きれいな町にしましょよう

日	曜日	行事	備考
31	木		
30	水		
29	火	婦人教養教室(老人福祉センター)	
28	月		
27	日	婦人バレーボール大会(町立体育館)	
26	土		
25	金	まきの木大学全体学習(老人福祉センター)	
24	木	老人看護講習会(婦人青少年会館)	
23	水	総合児童巡回相談日	
22	火		
21	月		
20	日	町民野球大会(河川敷スポーツ広場)13日迄	
19	土	交通相談日(役場)	
18	金	成人学級( )	
17	木	三歳児教室(老人福祉センター)	
16	水		
15	火		
14	月		
13	日	剣道大会(町立体育館)	
12	土		
11	金		
10	木		
9	水		
8	火		
7	月		
6	日	郡子供会球技大会	
5	土		
4	金		
3	木		
2	水		
1	火		

## 八月のこよみ

# 道路整備と教育施設を主体に

## 一億四、四〇〇万円を補正

### 6月定例議会

町議会6月定例会は6月26日(月)から29日(木)まで開催され、昭和53年度一般会計補正予算・国民健康保険税条例など6議案が審議され原案どおり可決されました。

一般会計予算額は、前回までの十四億五、七五〇万円に今後の補正額一億四、四〇〇万円を合すると十六億一五〇万円となります。

また、初日の26日は、町婦人社会部の人たち大勢が傍聴しました。

五、一四六万円

#### 補正による主な事業

- ▼事務合理化のため電算機の更新の開設改良工事費に 五、二九〇万円
- ▼吉津小山線新設工事ほか7路線の開設改良工事費に 一、七六五万円
- ▼吉津児童遊園地の整備費に 一、二八万円
- ▼塵芥処理施設整備とブルドーザーの購入費に 五、一九九万円
- ▼農免農道新設追加工事費に 三二五万円
- ▼新町都市下水道工事に 三、四〇万円
- ▼小池沢浚渫工事ほか2河川の改修工事費に 一、二八万円
- ▼第一中学校々庭排水水路の整備や理科教室設備費に 三二五万円

#### 町の監査委員に

### 高岡 太郎氏



太田義雄氏(議員選任)の辞任員(北松野)が選任されました。に伴い、6月議会で、高岡太郎議 町の監査委員は、専門の知識か



6月定例議会

経験の有する人と議員のうちから選任される人の2人が定数となっています。

また、監査委員は、町の財政が正確に使われているかどうかを監査します。

町の上憲・芦川利一の両氏に登録された事項(土地登記簿、建物登記簿に登記された事項は除きます)について不服があった場合に審査決定をします。

### 固定資産評価審査委員に決る

#### 会長に奥村皖英さん

##### 町納税貯蓄組合連合会

5月17日、老人福祉センターで昭和53年度富士川町納税貯蓄組合連合会の総会が開催されました。

本年度の運営方針、事業計画、予算などの審議のあと役員の変更と長年、納税委員や連合会役員としてご尽力いただいた、伏見益司さん(坂下区)が表彰されました。なお、新役員は次のとおりです。

- ▼会長、奥村皖英(本通三)▼副会長、志村真一(小池)、神戸秀臣(辻)▼理事、植松茂(小山) 瀧貞雄(坂下)、渡辺龍治(堺町)、斎藤武(本通二)、田村九郎(原方)、深沢一之(半在家)▼婦人部、佐野せつ子(東町一)▼望月美奈子(根方)、芦沢鈴(本通二)▼青年部、草ヶ谷安志(旭町)、久保田征士(辻)、尾崎喜

に登録された事項(土地登記簿、建物登記簿に登記された事項は除きます)について不服があった場合に審査決定をします。

#### 今月の納め

- ◎ 固定資産税 第2期分
  - ◎ 国民健康保険税 第2期分
  - ◎ 水道使用料 6・7月分
  - ◎ 清掃手数料 第1期分
- ※ 納期は 7月31日です  
忘れないで納めましょう

# 超音波診断装置と

## 胎児診断について

我が国の人口動態は、戦前の多産多死型から少産少死型に変わり、年間の出生数は減少中であり、最近では出産の九割近くが第一児、第二児であり第三児以降の出生はとくに減少している。このような傾向が強まるともに、一般に子どもの数は少なくともよいが、なるべく良い子を持ちたいと願望が強くなってきている。



妊婦さんにとってはもちろん、その周囲の人にとって、お腹の中の赤ちゃん（胎児）の健康状態は大変な関心事となってきた。ところがほんの十年前までは、妊婦の診察は主に母体の健康を主にし、胎児の健康状態については妊娠中期以降になって、胎児の心音が耳で聴えたり、胎動がわかるようになるまで知る手がかりが殆んどなかった。

これから説明する超音波診断装置が進歩してから、妊娠の初期から胎児の心音を聴いたり、胎写を映し出して目で見られるようになり超音波診断装置は妊娠と胎児の診察には必要とされてきた。



共立蒲原総合病院 産婦人科医長 鈴木 仁一

本年二月に蒲原病院に購入された電子走査式超音波診断装置（電子スキャン）は現在のところ最も新しい型の超音波診断装置であり身体内の臓器の形と動きを、そのままブラウン管上に描き出すことができます。したがって対象となる臓器も心臓、胆のう、肝臓、脾臓、胎児と幅広いが、その内でも特に胎児の状態が良く描けるので産婦人科の外来に設置されている超音波診断について簡単に説明しますと、超音波は音波の一種ですが、周波数が高いため反射、屈折、減衰など光に近い性質をもっている。したがって超音波診断装置の原理は魚群探知器や潜水艦のソナー、レーダーの原理と非常によく似ている。超音波を短時間に身体の内へ送りこむと、身体内の臓器の種類によって音響的性質が多少異なっているために、異なった組織の境界で超音波の一部が反射して返ってくる。こうして得られた反射波（エコー）の振幅の大きさをブラウン管上に明るさの強弱として表わすことにより、身体内の構造を描き出すことができま

### 随筆

## 「高令者の顔の手入れ」

富士川町交通相談員 民原 綾 夫

人間は年をとると老化して行くのが自然の原則であり、つとめて老化を防ぐ健康法を研究し、体力は別問題であるが心と気持の若さを何時までも保ちたいと思うので私なりの顔の老化を防ぐ方法についてお答えする。

老令者の健康法は、①顔の手入れ②体の手入れ③心の手入れ、の三つの方法があるが、先づ顔の手入れについてお答えする。私は、ある老人に「あなたは顔の手入れをしますか」とたずねたことがあるが、その老人は「若い時代はよく顔の手入れをしたが、この年になって顔なんか問題外で、馬鹿馬鹿しくて手入れなんかする気持はないよ」との返事がはね返って来たが、これは間違った考えだと思

う。人の顔は神から与えられた「独自の持ち味と、かくされた財宝がふくまれている」ことを知らないからである。自分の顔を不足に思ったり粗末にすることは、自分で自分の独自の持ち味を失い老化を早めることになる。自分の顔を愛し、喜び、心をこめて手入れすることは、必ず他人によい感じを与える顔となる。顔の輪郭や目

# お知らせ

## 求職者に職場を

### 求人職安へ

清水公共職業安定所は、この7月1日から7月31日までを雇用確保強化月間として、働いている人たちの雇用の安定と求職者の再就職の促進のために「求職者に職場を求人職安へ」のスローガンのもとに、求人開拓と事業主に対する求人呼びかけを行っています

従業員採用を予定される場合には、ぜひ公共職業安定所へ求人をお申し込みくださるようお願いいたします。

詳しいことは、清水公共職業安定所事業所課雇用主係（☎〇五四三―六五―一七―一）へ。

## 中高年齢者の雇用には 雇用開発給付金の活用を

中高年齢失業者の再就職は大変むずかしい状態にあります。

このようななかで、国では新たにこれら中高年齢者（45歳から64歳）を公共職業安定所の紹介により雇用した事業主（雇用保険に加入されている事業主に限る）の方に、中高年齢者雇用開発給付金を支給することとなりましたので、

雇用した者	給付金の額	支給期間
45歳～54歳 （通常賃金の1/2）	本人に支払った 通常賃金の1/2	3ヶ月間
55歳～64歳 （中小企業2/3）	本人に支払った 通常賃金の2/3	6ヶ月間

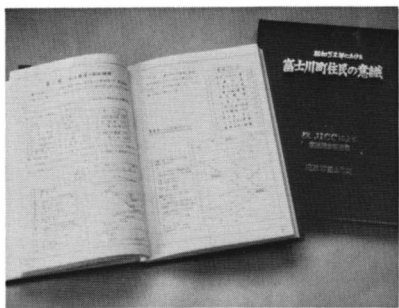
なお、詳しいことは清水公共職業安定所（☎0543-1171）番へおたずねください。

## 富士川町住民の意識

### ご希望者に頒布します

町基本計画づくりの一環として昨年11月、無作為抽出で千二百人の方に「住民意識」アンケート調査を行いました。その結果、七百二十九人の皆さんから回答をいただき、専門家に依頼してコンピュータで分析しました。

今まで実施したことのない「意識調査」であり、何年後にこういう調査が行われるか不明ですが、とにかく研究用価値の高いものであることは間違いないと思います。そこで、今回、百冊を製本し発行することになりました。そのう



## 複十字シール募金 運動にご協力を

複十字シール募金は、結核予防婦人会を中心とした結核予防事業をすすめるための目的で行われる募金運動です。シール販売による収益金は、この運動の資金にあてられ、国民ひとりひとりの善意の協力で結核をなくし、健康で明るい社会をつくるのが念願です。

結核は、近年医学の進歩、良薬の開発等により年々減少していますが、まだまだ高年齢層には死亡者が多く、今後とも結核ゼロへ向かっての予防事業の手をゆるめることはできません。

富士川町結核予防婦人会も7月中に、この募金運動を実施しますからご協力ください。

## シートベルトを 着用しましょう

### 夏の交通安全運動

7月18日から8月1日まで、全国交通安全運動が実施されます。この運動は、みなさんに交通安全思想の普及徹底と、正しい交通ルールを身につけていただくことにより、夏の交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

- 一、歩行者、自転車利用者、特に夏休み中の子供の事故防止
- 二、飲酒運転、過労運転等の防止
- 三、シートベルト着用の推進

- シートベルトはくるまに乗るときの常識
- シートベルトを着けるゆとりが身を守る



# 戸籍の窓

53・4・20～6・19

(敬称略)

## おめでた

区名	出生児	保護者続柄
木島	芦川 綾子	進 長女
相生町	望月 和彦	久由 長男
〃	渡邊 由子	敏弘 長女
上町	池谷 欣也	勲夫 長男
舟山町	望月香野子	正明 長女
坂下	唐橋 章一	政夫 二男
川坂	若月 裕加	正人 長女
〃	益木 尚美	好彰 二女
堺町	若松 浩 修	二男
四十九	久保田いづみ	一行 長女
〃	服部 有俊	充昭 長男
〃	望月 了一	一男 長男
宮町	清 利幸	政則 三男
〃	若月 由香	日出壽長女
〃	箕 和歌子	省一 二女
〃	市川 貴行	康孝 長男
〃	湯舟 舞	三夫 長女
小池	佐藤奈々絵	幹雄 長女
〃	佐野 延央	達己 二男
幸町	阿部 静香	雄介 長女
〃	望月加奈子	康夫 二女
〃	山梨 仁美	實 二女
〃	三浦 由加	忠則 長女
東町二	太田 裕二	好彦 二男
南町一	池田 和也	明 長男

## よろこび

南町一	望月志津恵	道光 長女
南町二	宇佐美明良	喜明 長男
〃	佐藤 竜太	光利 長男
〃	久保田真野	國義 長女
〃	望月 香余	清隆 三女
富士見	井出 裕子	則夫 二女
八幡町	望月 智子	正司 二女
かぎあな平野	美恵	武芳 長女
富士松野田中健一郎	忠夫	忠夫 長男
〃	望月 崇矢	四郎 長男
〃	望月 隆士	忠 三男
清水町	宇佐美友亮	誠 長男
〃	朝比奈俊輔	敏行 長男
〃	石川 綾子	佳一 長女
〃	片野 芳弘	眞由美糸山 旧姓
相生町	望月 賢司	宏子 根上
上町	小野田利夫	泰子 増田
新町	笠井 英司	加代子長野
四十九	天野 孝三	静子 後藤
〃	宮町	渡辺 勝司 照代 渡辺
〃	守田 武刀	孝子 守田
〃	本通四	辻 順一 悦子 秋山
幸町	吉川 正春	陽子 吉川
東町一	櫻井 孝俊	君代 吉田
〃	伊藤 清司	百枝三尋木
〃	望月 正人	美由紀 原
南町一	佐野 俊安	光代 高木
南町二	池上 佳典	志津子鳴原
八幡町	稲葉 博充	紀代美齋藤
〃	望月 昇	千鶴子伊東
清水町	木村 清人	隆子 遠藤

## おしあわせに

清水町	宇佐美 昇	美智子飯田
〃	羽山 隆	照己 天野
〃	若林 良子	〃
〃	細川 光子	北海道
〃	海野はま子	広島県
〃	森 一恵	沼津市
〃	鈴木恵美子	〃
〃	渡邊 節子	富士市
〃	田邊千代美	三島市
〃	森本 修子	富士市
〃	和子	由比町
〃	小川 永子	富士市
〃	渡邊美千代	清水市
〃	常盤 順子	富士市
〃	齋藤さとい	青森市
〃	齋藤 和代	沼津市
〃	齋藤真由美	富士市
〃	齋藤久美子	清水市
〃	齋藤 和代	蒲原町
〃	齋藤 雅子	富士市
〃	齋藤由美子	沼津市
〃	石川 時子	本川根町
〃	山本 和子	富士市
〃	宮原 正子	〃
〃	若林 良子	〃
〃	細川 光子	北海道
〃	海野はま子	広島県
〃	森 一恵	沼津市
〃	鈴木恵美子	〃
〃	渡邊 節子	富士市
〃	田邊千代美	三島市
〃	森本 修子	富士市
〃	和子	由比町
〃	小川 永子	富士市
〃	渡邊美千代	清水市

## かなしみ

区名	氏名	年齢
相生町	北村 ふさ	八六
〃	齋藤喜代次	六八
〃	丸山 さと	七九
上町	植松 茂二	六四

## 新しい電話機

### プッシュホンを

富士川電報電話局では、全加入区域でおぼえる電話、プッシュホンの販売を始めます。昨年の松野地区に続き、富士川局（八一局区域）の局内機械改造し7月より販売することになりました。

○ボタンをポンポンと軽くタッチするだけの電話機です。  
○特に長い電話番号など効果的な電話機です。

○電話で計算もできます。  
○ベルの音も調節できます。

○電話機の色は四種類あります。日常の生活に電話のご利用が、より一層効果的になります。

お問合せは八一―二二二番へどうぞ。

# 富士川短歌会

5月詠草 (天野寛選)

小池 池田 てい

鎌倉彫習うとにぎる彫刻刀基礎線  
引きし板に切り込む

四十九 塩川 恒子

自信なきままにみかんに接穂する  
品種改良迫られし畑に

旭町 吉田 令子

初の実習は外科病棟と告げし娘を  
針運びつつ一日思いき

本通 齋藤とし子

寄宿舎にて母を恋いたる妹の葉書  
出できぬ色の黄ばみて

旭町 飯野よし子

九官鳥ゆづりし理由を問ひつむる  
幼の目をさげ路の皮むく

四十九 辻 すみじ

つつじ咲く志摩半島の丘の上に眠る  
るが如き島々を見る

本通 望月 録

すがすがと窓放たれて癒え近き君  
臥す窓辺若葉さゆらぐ

宮町 山田たか子

除草剤の噴霧機背負いし四日間疲  
れをいやす今日の雨降り

本通 長橋 安子

若草山のふもとに墨を買ひたりき  
五十年経しけふまた墨を買ふ

相生町 長谷川ゆり子

薄明に覚病室に一抱えのバラは  
匂えり今日は手術日